

日本画像学会インクジェット技術交流会 2019 年度イベント

アドバンス技術講習会

UV 硬化型インクの基礎と応用

～UV 硬化型インクの基礎, その応用, 最新の技術動向までを解説～

講師: 朝武 敦 (コニカミノルタ株式会社)



講師略歴:

- 1987年 筑波大学大学院化学研究科博士課程修了
- 1987年 小西六写真工業株式会社(現コニカミノルタ株式会社)に入社
銀塩カラー写真用発色剤, 添加剤の開発に従事
- 1997年 デジタル画像形成材料の開発に従事. 染料熱転写用材料, インクジェット画像
保存性改良技術, カチオン UV インク, インクジェット捺染用染料インクなどの技
術開発に従事. 現在, インクジェットインク技術開発およびインクジェット技術
を用いる新規事業の企画に従事.
- 1999年 キレート型染料熱転写材料の研究に対して日本写真学会技術賞を受賞

日本画像学会評議員, 編集委員, インクジェット技術部会委員, DF 部会委員, 国際交流委員として日本画像学会の運営に参画. また色材協会 IJ 部会運営委員, ファッションビジネス学会デジタルテキスタイル研究部会運営委員, IS&T Tokyo Chapter Member として各学会の運営にも参画中.

● アドバンス技術講習会内容

UV 硬化型インクは, 速乾性や幅広い基材適性などの利点を持ち, 様々な用途に用いられています. 基本となる技術(光によるラジカル重合反応)自体は歴史のあるものですが, カチオン重合反応の応用, 開始剤の開発, LED 光源の展開, 各種機能の付与, 等, 現在でも活発に技術開発が行われています.

本講習では UV 硬化型インクの基礎をおさらいし, その特徴(強み, 弱み)を理解します. 特に受講者の参考になるように, 強みの伸ばし方, 弱みの改善法について考え方を説明します. さらに特許から見た最新の開発動向を解説し, 将来に向けた展望を紹介します.

講習会目次

1. UV 硬化型インクの分類
2. UV 硬化型インクの化学
3. UV 硬化型インクの処方設計
4. 最近のトピックス

定員: 30名(申し込み順*)
メール到着順とします.

開催日時: 2019年5月30日(木) 13:30-16:30

開催場所: 東京工業大学 キャンパス・イノベーションセンター5F
リエゾンコーナー509AB
JR田町駅から徒歩1分. 都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅から徒歩5分
<http://www.cictokyo.jp/access.html>

受付: 13:15 から会場で受付開始

参加費・支払い方法: ¥3,000
会場受付にて現金でお支払い下さい(振込み等は扱いません), 領収証あり.

今回は終了後の情報交換会はありません.

このイベントのインクジェット技術部会担当者: 藤井雅彦(富士ゼロックス)

● 参加申込み方法

メールタイトルを「IJ-SIG-EVENT-012 技術講習会申し込み」とし, ①お名前, ②インクジェット技術交流会会員番号(IJ-XXX)を記載して下記までメールで申し込んでください.

inkjet-sig@isj-imaging.org

● その他

定員に達し次第, インクジェット技術交流会のホームページや Facebook に[募集終了]を掲載しますが, 多少の時間差が生じることは了解願います. 申し込みをされた方には全員に, 参加可否をお知らせします.

キャンセルが生じ追加募集をする際は, 定員オーバーで参加できなかった方を優先します.